

日本火山学会 2009 年度秋季大会のお知らせ

主催：日本火山学会 共催：神奈川県立生命の星・地球博物館，神奈川県温泉地学研究所

1. 期日 2009 年 10 月 10 日（土曜日）～10 月 12 日（月曜日・祝日）

	午前	午後
10 月 10 日（土曜日）	講演会	講演会
10 月 11 日（日曜日）	講演会	講演会・臨時総会・懇親会
10 月 12 日（月曜日）	講演会	一般公開講座

2. 講演会場

神奈川県立生命の星・地球博物館（〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499）

<http://nh.kanagawa-museum.jp/info/traffic/index.html>

会場にはレストラン・喫茶がありますが、混雑防止のためお弁当の予約販売を予定しています。一般来館者が利用するため、お車での来場はご遠慮ください。

3. 秋季大会参加料（予稿集を含む）当日会場受付でお支払いください

会員（維持・学術・一般）：2,000円 会員（学生・満70歳以上）：1,000円 非会員：4,000円

なお予稿集のみの販売価格も同価格です。事前に予稿集の入手を希望する方は、代金引換にてお送りしますので、学会事務局にお申し込みください（配送料・代引手数料を御負担ください。）

4. 講演申し込み

Webまたは郵送により講演をお申し込みください（web申込を推奨します）。郵送の場合には3ページ目の講演申し込み用紙をお使いください。講演申し込みと、予稿集原稿の提出をもって受付とします。口頭発表の演者、ポスター発表の説明者になれるのは、それぞれ1件までです。また口頭発表の演者、ポスター発表の説明者は維持会員または学会会員であることが必要です。

Webによる申し込みの場合（締切日：8月20日（木曜日）午後4時）

講演申し込みURL

http://wwwsoc.nii.ac.jp/kazan/J/doc/2009_fallmeeting_application.html

予稿原稿（PDFファイル）送信先（FAXでは受け付けません）

E-mail: kazan-taikai@ymail.plala.or.jp

郵送による申し込みの場合（締切日：8月6日（木曜日）学会事務局必着のこと）

講演申し込み・予稿原稿送付先（FAXでは受け付けません）

〒113-0033 東京都文京区本郷6-2-9-406 日本火山学会事務局

5. ポスターセッション

縦 180cm×横 85cm のポスターをご用意ください。ポスター会場には電源がありませんので、電源が必要なパソコンやビデオの使用はできません。コアタイムは10日（土）17時～18時を予定しています。また口頭発表数に余裕がある場合、ポスター発表内容を講演会場にて簡単に口頭説明していただく場合があります。

6. 現地討論会（コースにより受付方法が違います。ご注意ください）

△コース 箱根火山

日程：10月12日（月）16:00-14日（水）15:00

集合：10月12日16:00 神奈川県立生命の星・地球博物館地下駐車場

コース：大観山，大涌谷（砂防工事と最近の噴火），宮ノ下（カルデラ東縁の断層），芦之湯（東京軽石以降の堆積物），須雲川沿いの溶岩-テフラ層序関係の観察，など

定員：28人（2泊3日貸切バスで移動）

参加費：26,000円（交通費・資料費。参加費は変更の可能性があります）参加申込者には別途，送金方法と送金先をお知らせします。

案内者：高橋正樹・小林 淳・萬年一剛

申込締切：9月1日（火）ただし定員になり次第締め切ります。

申込先：〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 586

神奈川県温泉地学研究所 萬年一剛 (申込はE-mail, Fax, または郵便で)

E-mail:mannen@onken.odawara.kanagawa.jp Tel:0465-23-3588, Fax:0465-23-3589

Bコース 三宅島火山

日程: 10月12日(月) - 14日(水)

集合: 10月12日(月) 21:30 東京 竹芝桟橋(当日KNT(近畿日本ツーリスト)による巡検専用受付が開設されます)。22:30 発の東海汽船の大型船で三宅島へ渡ります。

解散: 10月14日(水) 20:30 着の東海汽船で東京 竹芝桟橋に到着後, 自由解散。

コース: 七島展望台(雄山観察・伊豆諸島遠望), 村宮牧場(2000年噴石, “低温火砕流”堆積物観察), 笠地ダム(砂防ダム観察), 伊豆岬(最近1万年間の噴出物), 椎取神社(泥流に埋まった鳥居), 赤場暁(1962年溶岩流, 泥流, 砂防ダム), 三七山展望台(1962年三七山噴出物観), 大路池(マール), 鉄砲場展望台(阿古1983年溶岩流俯瞰, 溶岩流下の自動車の観察), 旧阿古小・中跡1983年溶岩流), 三宅村郷土資料館など。

定員: 60人(貸切バスで移動)

参加費: 35,500円~59,000円。利用する船舶クラスと宿でいくつかの組合せがあります。

案内者・世話人: 津久井雅志・川邊禎久・笹井洋一, 新堀賢志, 前野 深, 金子隆之, 中田節也
申込締切: 9月10日(木) ただし定員になり次第締め切ります。

申込先: 火山学会ホームページに, 案内・申込用紙を用意します。申込用紙に必要事項を記入の上, KNTへFAXまたはメールで送付, また代金を振り込んでください。

事前説明会: 巡検に先行して事前説明会を開きます。三宅島の地質や2000年噴火について各分野の専門家に解説していただきます。(津久井, 新堀, 風早, 大湊, 川邊, 笹井の諸氏を予定)。

日時: 10月12日(月) 13:30-15:30 場所: B会場

7. 懇親会

日時: 10月11日(日) 18時30分~20時30分

会場: 小田原鈴廣かまぼこの里「鈴の音ホール」(箱根登山鉄道・風祭駅前 0465-24-3456)

参加費: 一般4,000円, 学生2,000円(予定)

8. 秋季大会に関する連絡先

〒250-0031 小田原市入生田586 神奈川県温泉地学研究所内

2009年度秋季大会実行委員会 萬年一剛委員

TEL:0465-23-3588 FAX: 0465-23-3589 E-mail:kazan-taikai@ymail.plala.or.jp

9. 予稿原稿の書き方

提出原稿には, A4用紙をお使いください。オフセット印刷でB5版に縮小されて予稿集になります。

郵送の場合は右図の要領でプリントしたものを提出してください。Web申し込みの場合は右図の要領でPDFファイルを作成して, 学会事務局までE-mailにて送信してください。講演番号のスペース(左肩)を充分に空けてください。図や写真は枠内に直接貼り付けてください。仕上がりはグレースケールになりますので, 識別しやすい色をお使いください。原稿は1講演につき1ページは無料です。超過分は3,000円/ページをお支払いいただきます。

10. 秋季大会の宿泊について

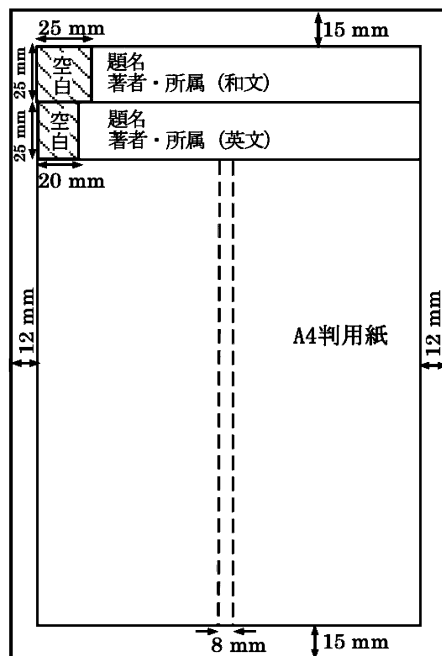
会場に近い小田原市内, 箱根湯本には, 多数宿泊施設がありますが, 連休中ですのでお早めにご予約ください。なお, 会場までは小田原駅から電車で15分, 湯本駅から電車で10分程度です。

神奈川県立生命の星・地球博物館のホームページ:

<http://nh.kanagawa-museum.jp/>

また, 会場へのアクセスについては以下のURLをご参照ください。

<http://nh.kanagawa-museum.jp/info/traffic/index.html>



予稿原稿の書式(枠線は印刷不要です)

日本火山学会2009年度秋季大会講演申し込み用紙

郵送の場合は8月6日必着

講演申し込みには、本用紙の他に予稿集原稿が必要です。両方の提出がない講演は受け付けられません。申し込み先は 日本火山学会事務局です。(FAXでは受け付けません)

なお、講演申し込みはWebでも行うことができます (Web申し込みの締め切りは8月20日午後4時)。その場合には予稿集はPDFファイルで学会事務局までE-mailにて送信してください。

URL: http://wwwsoc.nii.ac.jp/kazan/J/doc/2009_fallmeeting_application.html

E-mail: kazan-taikai@ymail.plala.or.jp

講演タイトル	
講演者氏名と所属 (発表者は維持会員・学術会員に限ります)	複数の場合には必ず発表者の右肩に○印をしてください。
キーワード	講演内容に関連したキーワードを下から選び、()内に数字で順位をつけてお書きください。プログラム編成の参考にします (最大3つまで)。 ()火山の地震・()地殻変動・()火山地下構造・()火山化学 ()火山の地質学・()火山の岩石学・()形成史と時空分布 ()火山とテクトニクス・()マグマ発生と物性・()マグマの蓄積と移動 ()噴火のダイナミクス・()噴出物の堆積と運搬・()モニタリング ()リモートセンシング・()火山災害・()噴火と環境・()地球外火山 ()その他 (具体的に)
発表方法 (いずれかに○)	1. 口頭発表 2. ポスター発表 3. 口頭発表, ポスター発表のいずれでも可
講演についての要望	講演時間, 順番, 設備等, ただし希望に添えない場合があります。
講演申し込み 責任者連絡先	氏名 : 連絡先 (所属) : TEL : FAX : E-mail : ※お願い: これまでに学会に届け出の住所・メールアドレスなどに変更がありますか? 変更がある場合は変更箇所を赤字で記入下さい。

シンポジウム等のお知らせ

「火山防災シンポジウム -あすの火山防災を考える-

主催：日本火山学会

共催：神奈川県立生命の星・地球博物館，神奈川県温泉地学研究所

日時：10月9日（金曜日） 13時30分-17時30分

場所：神奈川県立生命の星・地球博物館ミュージアムシアター

参加費無料。参加申込は不要ですが、当日は16時まで（博物館の入館時間内）にご入場ください。

〔内容〕

第一部 「箱根火山防災はどう変わった -噴火警戒レベル導入を通して-

第二部 「大規模噴火時における広域火山防災のあり方」

2007年12月から気象庁は火山現象について予報及び警報を行なうことになり、活火山地域に噴火警戒レベルが導入されつつあります。噴火活動の規模が大きくなるにつれて噴火警戒レベルが高くなり、レベル4や5が発表される例として、めったに起きない大規模噴火があります。100年～数100年に1回という低頻度の大規模噴火に対応するには、中～小規模噴火に対する場合とは異質の対策が必要となります。

このシンポジウムでは第一部で箱根火山の成り立ち、活動現況、さらに防災対策について紹介します。また、第二部でわが国での過去の大規模噴火の事例紹介、さらに大規模噴火での火山防災のあり方について、研究者、防災関係者、行政、市民による自由な討論の場で探っていきます。

防災関係者、一般市民の皆様も積極的にご参加ください。

〔お問い合わせ先〕 日本火山学会 火山防災委員会 中村洋一（宇都宮大）

E-mail: ynakamu@cc.utsunomiya-u.ac.jp

日本火山学会第16回公開講座

「火山学者と火山を作ろう！in 箱根・小田原」

主催：日本火山学会 共催：神奈川県立生命の星・地球博物館，神奈川県温泉地学研究所

日時：10月10-11日（土曜日・日曜日） 14時00分-16時

会場：神奈川県温泉地学研究所 2階 会議室

(http://www.onken.odawara.kanagawa.jp/modules/t_syoukail/index.php?id=6)

参加費無料・要事前受付

〔内容〕 火山学者と一般の方が、食材などを用いた「ミニ火山」を作りながら、火山の作り方や噴火についての疑問に答えていきます。

〔お問い合わせ先〕 2009年度秋季大会実行委員会 E-mail: kazan@onken.odawara.kanagawa.jp

火山学会秋季大会開催記念講演会

「火山と私たちの暮らし」

主催：日本火山学会 共催：神奈川県立生命の星・地球博物館，神奈川県温泉地学研究所

日時：10月12日（祝日） 13時15分-15時30分

会場：神奈川県立生命の星・地球博物館 ミュージアムシアター

参加費無料

〔内容〕 「火山はなぜ噴火するか」「箱根火山はこれからどうなるのか」など、私たちに意外に身近な火山の素顔を解き明かしていきます。

〔お問い合わせ先〕 2009年度秋季大会実行委員会 E-mail: kazan@onken.odawara.kanagawa.jp